

備考

此の問題に就て注意すべきことは、二十名支部の発会式を基に在羽生に起るといふことである。

鐵道省から諸員に在籍料半價値下げが當面の根本問題であつたが、これは職工として忍び得ざる苦痛では無い。

只支那発会式の羽生のことであらう、感懐が大に手傳つたに過ぎない。

加盟者の増給を求めたこと

老百八十九名の中、此の事件に加盟した者が八十九名は、ヤスリ工場の職工であつた。而して、~~彼等~~ 彼等八十九名は

三割増給の愚曲に陥つた。

理事部長西原氏曰く(社長に対し)

女の事件に参照した者が、在籍料半價値下げ社に対し、この要求では無いが、然るに加盟した者は増給を求めない者が増給を求めないといふことは不合理的ではないかと。

社長曰く

加盟した連中は困つて居るから問題を起したのだ。加盟した者が困らぬからである。従つて加盟した者が困らぬに増給する必要はないと。